

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年10月16日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300948
法人名	有限会社 辛卯
事業所名	グループホーム 和みの家 (B棟)
所在地	鹿児島県鹿屋市西大手町8190番地1 (電話) 0994-40-7855
自己評価作成日	平成30年10月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿屋市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年11月28日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ①系列の協力病院より訪問診療に2名の先生(医師)来所され、毎月1回の診察して下さいます。
- ②施設周辺の環境(専門病院、薬局、公共施設、交通機関、商店街)に恵まれた場所にあります。
- ③地域交流も町内会の行事(サロン会、十五夜、水神様祭り)近辺にある学園(学童保育の子ども達との)ふれあいなど多様に交流を図っています。また、施設でもレゾナカフェ、運営推進委員会の開催時など施設からメッセージを発信しています。
- ④施設の行事では季節行事、花見ドライブ、運動会、遠足、誕生会等、家族との連携も図っています。
- ⑤毎月の生活状況等便り、状態急変時等、家族に連絡、報告等迅速に行っています。
- ⑥職場では、スタッフの働きやすい環境作り、腰痛予防にギャジベットから低床電動ベット等を徐々に変え、リフト導入予定で、無理のない介護支援に取り組んでいます。

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は会議、申し送り（朝礼）時に仕事の意識を高める為として皆で唱和しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設が町内会に加入しているので行政からの回覧板、メール等で最新の情報を得ています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会で老人会のサロ（月1回）出席させて頂いたり、町内に学童を受け入れてる施設（メイプル学園）がある為、気軽に立ち寄っていただける環境にしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政を含め、各地域代表者に施設での生活状況報告、利用者、職員の入退所当の移動等の報告や、出席者のご意見を頂く機会となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政からの情報を毎日メールで確認しています。また、研修関係（集団指導等）、提出書類や、サービスの情報に協力を頂いています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	各棟の身体梗塞廃止委員会の担当者会議で、議題を出して検討しています。「何故身体拘束するといけないのか」意味を考えると話し合う。また、緊急やむを得ずの場合は身体拘束廃止の3原則を守り理解した上でケアに携わります。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会、勉強会等に参加して接遇を通していかなる人々の尊厳を重視する。スタッフ間で言葉使いや態度等を注意し合える信頼関係を構築しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修、会議等で成年後見人制度の意味を理解し、利用者、スタッフの精神的な不安解消に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所前の情報提供を元に家族、ご本人様に訪問、面談を行い、施設での生活、利用料金等の説明させて頂き、双方の納得の上で契約を交わします。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常の面会、毎月の生活状況、医療状況等をお便りで実施します。また、季節毎の行事、家族会実施時に意見、要望等をお願いしています。アンケート、玄関先に意見、要望箱を設置して気軽に活用できる環境作りで、サービス等に活用します。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の会議、個人面談等でより働きやすい環境を提供しています。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	スタッフの資格取得できる環境作りで、講習、研修、勉強できる雰囲気等を推奨している。資格取得後の手当を支給を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修会を毎月1回は実施しています。また外部での研修会に積極的に参加を勧めてスタッフも資質向上を目指しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営推進委員会、町内会行事参加して防災訓練等ネットワーク作りを行っています、また、研修等で同業職としての意見等聞ける機会を図っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問や、情報を頂き、本人様の生活スタイルを継続でき安心できる関係づくりに努めます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	15番と同じです。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントをしっかり行い、ケアプラン作成に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	可能な範囲で（簡単な作業）一緒に行うことで信頼関係につなげるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は自室でゆっくり会話できて（お茶飲みながら）の雰囲気にかけています。毎月のお便りで近況等報告。希望時は電話等取次ぎ、行事には家族と会食して頂き日頃の生活スタイルも見てもらってます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	花見ドライブ（故郷訪問）を年3～4回実施してます。自宅付近まで行くと近所の馴染みの方達と出会えたり、また病院受診時に偶然会えて喜ばれます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	起床後は洗面、更衣後ホールでお茶飲まれながら朝の挨拶から始まる。食後はリハビリ体操、毎日歌う歌、足ふみ、歩行訓練行う。レクリエーション会話、脳トレーニング、ボール送り、屈伸運動兼ねて楽しく行ってます。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院が長引いたり、ターミナル等で止むを得ず退所された方の面会をさせてもらいます。元気で退院後の他機関との連携を図りお手伝い致します。訃報聞いたときは最期のお別れをさせてもらいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケア会議等で個人別のサービス、現況状態を検討します。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様、家族様の生活スタイル等を傾聴、各館気者からの情報提供を参考にアセスメント、ケアプラン作成しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプランに添って支援経過、モニタリングを行いながら、その人らしい過ごし方を支援します。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護保険認定更新時と短期目標終了時は必ず検討会を実施しています。担当者会議に家族も出席できる日をお願いする。できない場合は面会時や電話で要望等、聞いてます。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、個別日誌、ADL全般の状況表（把握）支援経過記録でモニタリングを行う。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個別支援、グループ全体で実施するケアの両方のサービスを実施しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会行事（サウナ会、水神様祭り）花苗配布、慰問（近所の学童さん達の可愛いふれあい）レンジカフェ、行政の回覧板で情報を知る事、運営推進会、防災訓練等地域の協力を得ています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院、各専門病院の連携を図り、緊急時以外は看護師の付き添いで受診している為、家族の負担も軽減しています。内科は協力病院より訪問診療して下さいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎日バイタル測定実施、表情等の確認、日勤、夜勤帯の引継ぎ等を日誌、口頭で報告等の連携を張ってます。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院、家族等の連携による情報交換を行い、入退院時に家族、本人様の不安要因を解消できる関係づくりに努めています。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所契約時に容態緊急時の説明を行う。入院時に医師の説明等家族と一緒に傾聴、その後の経過による家族と相談、支援していく。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	毎月の会議で、緊急時の対応の仕方等、マニュアルに沿って実施します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアル訓練を会議等で毎月実施しています。毎日の夜勤者同士による非難経路、火災通報装置等確認を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所以前の訪問、情報提供、入所の契約書、ケアプラン等の主義義務は勿論守っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個人的にアセスメントを行い、嗜好調査、趣味、好みの服選び、リハビリ等の希望を自己決定できる雰囲気を作る。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課（リハビリ体操、歌足ふみ、歩行訓練）を実施するも、個別のペースも考慮し無理強ひせず参加を促す。レクリエーションも皆が楽しめる楽しいプログラムを提供する。自由にテレビ視聴、自室でくつろいでます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出、入浴準備は勿論、自分が着たい時に一緒に服選びを支援します。お化粧品等もされています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立メニューも1週間位は同じメニューせず、個々に嗜好調査を行い、毎日ではないがなるべく沿うようにサービスしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取カロリーを1100～1300kcalを目安に提供する。栄養バランスも考慮しています。10時15時と間食も毎日お出しする。食事水分摂取等記録して摂取量を把握する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食前は声かけ誘導促し、うがい手洗い励行する。食後は口腔ケア、義歯洗浄を実施しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で排泄時間間隔を把握、声かけ誘導を行い、なるべくトイレ使用を促す。夜間はトイレ、尿とりパット、ポータブルトイレ使用（個人別）支援を行う。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維のある食材（野菜、根菜類）を提供、水分摂取の声かけ誘導、軽い体操、腹部マッサージ、医師処方薬の冠下剤、漢方薬（センテ茶）等で工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	W/3回の入浴を実施ですが、希望等ある場合は毎回は無理もあるが希望でサービスしてます。個人的にぬるま湯を好きな人や、熱め人等対応する。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、熟睡できないで日中居眠りされる方は1～時間居室で休息される。昼夜逆転にならない程度で午前、午後1時間位づつ休んでいただく。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の処方線を確認、他者の薬と間違わないよう予薬時は数人で確認する。また、服用前には名前と薬の再確認し、飲み込み行う。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できる人は、お膳拭きやテーブル拭き、食材の下ごしらえ等スタッフと一緒に活動して下さいます。また自分の洗濯物の寝巻とズボンはたたまれます。毎日の日課になってます。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は近所の水神様までお参りに出かけてます。また2エントあるので、隣棟同士で遊びに行かれています。家族の協力もあり、誕生日や、墓参り等外出の機会もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>事務所で家族様から預かり金としてほしい1万円程度預かり、出納帳毎月家族にコピーを送っています。個人的には数人の方が数千円を保持されています。殆ど使わないが、毎日自分で数えて満足されています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族と会いたかったり、声が聞きたかったりされた時はいつでも対応しています。毎月家族様に現況報告等、お頼りしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>起床時、消灯煮室温の把握、寝具の整理整頓、窓の開閉で空気の入れ替え等の気配りは毎回実施しています。掃除等も徹底し、快適な空間をサービスしています。自室には懐かしい写真や装飾品が飾られています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>3人がけのソファーも3箇所を設置しており、気心の合った方たちの憩いの場所でもあります。またテレビ鑑賞もゆったりと腰をすえてみておられます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンス、アーム、装飾品など飾られ、過ごしやすい空間になってます。カレンダーで日にちの確認をされてます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	居室、ホールからの動線がスムーズに動ける環境になってます。壁側には手すりが設置してある（転倒防止）トイレ浴室は滑り止めマット設置してあります。ベッド対応で体動のある人にはセンサーコールを置いてます。		



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない